

きん ね 琴の音に昔をしのぶ ～ 古琴演奏会～

名曲「春の海」など晴れ着姿の女性たちが演奏する「箏の琴」。十三弦に柱が付くこの楽器がわが国に渡来した奈良時代、もう一つの琴が伝えられました。「琴の琴」、七弦琴です。「箏」の華やかさとは別の、気品と高い精神性を持つ「琴」。静かな場面には流れる「琴」の音、『源氏物語』若紫巻では、帰京する光源氏は僧正が差し出した琴を見事に奏します。須磨に退隠する源氏が携えたのは『白氏文集』など僅かな本と琴でした。やがて世が末法乱世となる中で、「箏」は生き延び、「琴」は姿を消していきました。再び「琴の琴」が蘇ったのが、徳川の御世、宣長の時代です。鈴屋を来訪した琴の名手・浦上玉堂の古琴の調べを聞く宣長の心は、やがて『源氏物語』へと誘われていく・・・

2009年、ユネスコの世界文化遺産に登録された「古琴」の響きを、みなさんも本居宣長旧宅でお楽しみ下さい。

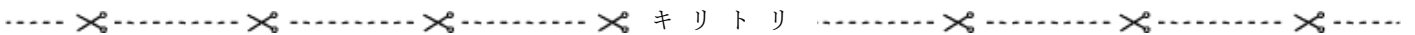
日時 2019年6月29日(土) ①14:00～15:00
②17:00～18:00
※同内容を2回開催いたします。

定員 各回、30名(事前申込制)
参加費 本居宣長記念館入館料が必要です
大人400円、大学生300円、小人(小学4年生～高校3年生)200円
※小学3年生以下無料。

入館料は、演奏会当日に本居宣長記念館受付にて、お支払い下さい。

奏者 武井 欲生 氏 (日本古琴振興会 代表) ※日本で唯一のプロ古琴奏者です
三浦 祐子 氏 (日本古琴振興会)

ご希望の方は、お電話・FAX・郵送等、いずれの方法でも結構です。本居宣長記念館までお申込み下さい。定員に達し次第、受付は終了いたします。ご了承下さい。(お問い合わせ詳細は、裏面参照)



古琴演奏会 参加申込書

ふりがな 氏名	男	お住まい 都道 府県	市 区
	女	電話番号	
希望する講座に✓を付けて下さい			
<input type="checkbox"/> ①14:00～15:00		<input type="checkbox"/> ②17:00～18:00	
に参加希望します。			



古琴（こきん）と聞くと、お琴（箏そう）と混同される方もいらっしゃるかもしれません。

また、「どうして日本で古琴を振興するの?」と思われるかもしれません。

たしかに、古琴は中国古典楽器の代表的な存在です。

しかしながら、遅くとも奈良時代には渡来していた古琴は、日本人の心の中にも深く浸透し、日本と中国が長い年月に渡って共有してきた音楽文化の源泉となるものでもありました。

かつて日本人の中にも古琴を愛好する文化があったという一面を再認識していただきたいという願いから、演奏会や交流会など様々なイベント、また演奏教室を開催し、古琴の普及活動を行う、日本で初めての古琴音楽に関する法人団体です。

《お問い合わせ》



公益財団法人 鈴屋遺蹟保存会

本居宣長記念館

Museum of Motoori Norinaga

〒515-0073

三重県松阪市殿町 1536-7

TEL 0598-21-0312

FAX 0598-21-0371

Mail info@norinagakinenkan.com

※ お申込みは、電話・FAX・メールでも受け付けています。

定員に達し次第、受付終了させていただきます。 ご了承下さい。

ご不明な点がございましたら、本居宣長記念館までお気軽にお問い合わせ下さい。